



進水式



3月定例会/目次

交通問題協議会報告	青年部座談会	委員会報告	一般質問	予算審議	平成16年度予算	3月定例会
24	22 23	20 21	6 19	4 5	3	2

おおさきかみじま 議会だより

第4号/2004年5月21日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX (08466) 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

3月定例会

平成16年第1回大崎上島町議会定例会は、3月10日から29日までの会期で開催しました。

町長の所信表明を受け、活発な論議を展開しました。この定例会では平成16年度一般会計、11の特別会計をはじめ、条例改正、15年度3月補正予算など多くの議題を審議しました。提案された条例、予算等については原案どおり可決しました。



3月定例会で決まった主なこと

○助役の選任について

徳森和範氏（前総務課長）の助役選任に同意しました。

○郵便局における事務の取扱について

木江明石、木江沖浦、鮎崎郵便局での町の事務の取扱を行うことを可決しました。

○大崎上島町上下水道事業関係の条例について

下水道事業の供用開始にむけて条例を整備し、可決しました。

平成16年度一般会計

79億7千792万円

歳入

(単位：千円)

区 分			16 年 度
財 源 内 訳	1	町 税	1,779,324
	2	地 方 譲 与 税	71,250
	3	利 子 割 交 付 税	6,497
	4	配 当 割 交 付 金	1,022
	5	株式等譲渡所得交付金	140
	6	地方消費税交付金	94,138
	7	自動車取得税交付金	28,569
	8	地方特例交付金	26,639
	9	地方交付税	2,121,000
	10	交通安全対策特例交付金	984
	11	分担金及び負担金	98,235
	12	使用料及び手数料	62,256
	13	国庫支出金	657,549
	14	県 支 出 金	690,998
	15	財 産 収 入	5,021
	16	寄 付 金	6
	17	繰 入 金	435,495
	18	繰 越 金	1
	19	諸 収 入	109,004
	20	町 債	1,789,800
歳 入 合 計			7,977,928

歳出

(単位：千円)

区 分			16 年 度
1	議 会 費		153,542
2	総 務 費		912,739
3	民 生 費		1,305,255
4	衛 生 費		823,464
5	労 働 費		18,055
6	農 林 水 産 業 費		847,414
7	商 工 費		107,951
8	土 木 費		1,026,793
9	消 防 費		470,589
10	教 育 費		975,693
11	災 害 復 旧 費		987
12	公 債 費		1,332,445
13	諸 支 出 費		1
14	予 備 費		3,000
歳 出 合 計			7,977,928



特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険事業	1,287,904
介護保険事業	1,098,406
老人保健事業	2,048,013
簡易水道事業	671,791
公共下水道事業	417,396
農業集落排水事業	42,806

漁業集落排水事業	285,228
港湾管理事業	15,262
漁港管理事業	5,633
交通事業	59,990
干拓地管理事業	19,251

主なやりとり

問 区の連絡補助金の算定は。

答（総務課長） 補助金は世帯数を一律15で割り、将来的には1班の構成は15世帯より大きくしたいと思っています。

問 葬儀の放送を全町ですべきではないか。

答（総務課長） 防災無線を整備した時点で区長さんの意見を参考にして考えてみます。

問 防犯灯を虫などが入りにくい改良型に設置しなおす考えはないか。

答（総務課長） 設置改修については3分の1の負担を区にお願いしており、区の協力が必要です。

問 すべてのバス停に長イスを設置する気はあるか。

答（総務課長） バス会社の方に設置を要望しています。

問 ゴミの収集を今少し工夫して細分化するつもりはあるのか。

答（福祉保健課長） 来年度竹原広域で基本計画を見直す予定です。

問 町の総合検診の時期を

見直すつもりはあるのか。

答（福祉保健課長） 本年度については見直しをするつもりで取り組んでいます。

問 神峰山の道路整備及び薬師堂下のトイレを整備するつもりはあるのか。

答（農林水産課長） 神峰山の道路改良は車寄せ、離合場所を数ヶ所設置し、トイレは公園整備の中で改修改良する予定です。



▲ 神峰山

問 幼稚園に専任の園長を常勤させる計画はあるのか。

答（教育長） 常勤の園長がベストであるが、大崎・木江とも小規模になっており、難しいと思っています。

問 光ファイバーの今後ど

のように活用していくつもりか。

答（町長） 農業、福祉、産業振興、観光面も含めて色々活用したいと思っています。

問 幼稚園の学区制を変更するつもりはあるのか。

答（町長） 当面の間は、今までの学区制で行くつもりです。

問 大崎地区の集会所が4月1日以降（下水道の）供用開始になるのに予算が計上されていないがどのようにするつもりか。

答（福祉保健課長） 今後、課内で検討して来年度に改修できるように考えています。

問 島外の人が見ても分かるような看板を設置する計画はあるのか。

答（商工観光課長） 15年度は5ヶ所、16年度についても工夫して島外の人が見ても理解できるように看板設置については前向きに考えています。

問 設計並びに用地買収が済んでいるのに工事に着手されていない箇所があるの

では。

答（建設課長） 東野、木江地区にはありません。大崎地区に町道として2ヶ所あります。

問 配食サービスが旧3町でバランスが悪いのではないか。

答（福祉保健課長） 今後同じような条件でサービスできるようにしたいと思っています。

問 2次救急医療はどのようになっているのか。

答（福祉保健課長） 今は県立安芸津病院と安田病院です。



▲ 看板

わが町の予算

問 水産振興事業としてどのような稚魚を放流しているのか。

答（農林水産課長） ヒラメ、ギザミ、クルマエビ等の稚魚を放流しています。



▲ 放流

問 文化財の保護団体育成の助成金は団体に助成しているのか。

答（生涯教育課長） 本年度は町内8団体に助成しています。

問 すべての学校に手すりがついているのか。

答（教育長） すべての学校に手すりが設置されているかどうかは確認しておりません。

問 島づくり塾を16年度に行う予定はあるのか。

答（政策企画課長） 実施し

ていきたいと思っています。
問 公印の管理はどのようなになっているのか。

答（町長） 上司の決裁を受け確認して公印を押印する。これが原則です。

問 情報セキュリティの管理はどのように考えているのか。

答（政策企画課長） 今は普通のドアでカギを政策企画室が管理しております。将来については色々と検討しています。

問 あんしん電話の電池切れ、通話等契約切れをどうするのか。

答（福祉保健課長） 新しいものを据え付けるべくやっております。

問 中電の2号基建設は17年度から着工できるのか。

答（町長） 16年度に次の展開に向けてはつきりさせたいとの事です。

問 土曜日のバス運行が4月から始まるのか。

答（政策企画課長） 方法についてはバス会社と話を詰めて早い時期に運行したいと思っています。

問 交流事業は今後どのようにしていくのか。

答（政策企画課長） 交流事業については島一つで募集をかけて行きます。



▲ 交流事業

問 防火水槽の設置は合併後はどのようにするのか。

答（総務課長） 消防署と協議して不足地域を整備したいと思っています。

問 長期総合計画はどのようなになっているのか。

答（政策企画課長） コンサルルの力を借りますがなるべく委員の考え方を取り上げて行きたいと思っています。

問 庁舎警備はどのようになっているのか。

答（総務課長） 地元住民に委託しています。

問 フェリーの無料乗船券は何枚あるのか。

答（総務課長） 4月からは返上し利用しないつもりです。

問 人口動態はどのようになっているのか。

答（住民課長） 若者が少ないので出生が少なく人口は毎年減少し高齢化が増え現人口は9,700人弱です。
問 若者定住リーダー育成費はどのようになっているのか。

答（政策企画課長） 補助金については予算の範囲内で補助しています。

問 緊急雇用対策事業はどのようになっているのか。

答（商工観光課長） 現在は利用事業がないと言うことで計画はしていません。

問 消火栓を差し込み式にする計画はあるか。

答（総務課長） 利用の面では差し込み式がいいと思いますが、用地の確保が今まで難しかったが、これから前向きに考えて行きます。

町政を問う

問

土曜日廃止の路線バスの運行は

答

廃止前の状態の運行を想定しています



まさた あつお
蔭田 篤雄 議員

質問（蔭田議員）

10月より土曜日の路線バス運行が廃止され、6ヶ月が経過しようとしています。交通手段を持たない特に通院されているお年寄りの方は大変不便を感じています。大崎上島町交通問題協議会でも、再三にわたって早く運行すべきと提言してきました。

第8回交通問題協議会の中で、町長より4月から運行したいとの答弁がありました。運行便数、運行時間帯は町長に伺います。

答弁（町長）

4月から土曜日の運行は、別立て町の単独事業ということになります。基本的に廃止前の状態の土曜日の運行を想定しております。

再質問（蔭田議員）

4月から実施されるとの答弁ですが、コミュニティバスが運行できればすぐ解消できる問題です。早期にコミュニティバスの実現を望むわけですが、具体的にコミュニティバスの運行の時期はいつごろとお考えなのか伺います。

再答弁（町長）

補助制度が今年の10月まで今の枠組みを守って行くと言うことが前提にあります。10月以降をどういうふうにするかは、検討してまいります。

問

盛谷湾埋立土地利用計画は

答

公園広場として使いたい

質問（蔭田議員）

現在、盛谷湾埋立地は、

いますので、早急の整備をお願いしたい。

再答弁（町長）

島にとって貴重な財産でありますし、地域で気軽に使っていただけるよう考えていきたいと思っています。

県、町の所有地になっていくと思います。今後の利用計画はどのようにされるのか。また、夏場には草が生え放題で美観的にも非常に見苦しい。冬場には風で土埃がひどく地域住民に大変迷惑をしているのが現状です。芝生を植えて整備すれば解消できると思いますが、町長の考えを伺います。

答弁（町長）

構造物的なものは当面は差し控え、レクリエーション、公園広場として使って行きたい。芝生は管理が難しいが検討したい。

再質問（蔭田議員）

利用計画は、じっくり考えていただきたい。また、現状では見苦しく地域住民にも非常に不便をきたして



▶ 盛谷湾埋立地

問 質 一

問 小中学生の携帯電話の取り扱い

【答】 PTA等と話し合う



谷本 昌 議員

【質問（谷本議員）】

情報化社会の進展は、子育て、教育、社会のあり方すべての面で功罪両面を持っている。特に小中学生の携帯電話の使用については、子ども、保護者、先生、教育委員会での十分な話し合いが必要と考える。

【答弁（教育長）】

PTA等へ働きかけて、適正な使用について、啓発したい。

問

中野地区下水道事業の説明会を早く



【答】 4月以降に持つ

【質問（谷本議員）】

公共下水道事業は加入者への強制力がある。この事業の成否は、今後の町財政に大きく影響する。町民の中に旧町時代の説明では不十分だとの声がある。新町として早急に説明会を持つべきだ。

【答弁（町長）】

4月以降新体制で、下水道法、条例の趣旨の説明を含め、積極的な加入に向け啓発活動に取り組む。

問 町長選挙時の公約の扱い

【答】 今一番大事なことは町民が共通認識を持つことだ

【質問（谷本議員）】

「①生き生きした町に②安心して暮らせる町に③みんなの知恵を生かせる町に」との表題の公約を約束されている。非常に抽象的だ。就任しての一年間にどのように取り組み、結果としてどのようなことが実現した

のか、具体的に示すべきだ。

【答弁（町長）】

旧町それぞれの持っている良いものを互いに認め合うことがもつとも大切だ。共通認識を持つように努めてきた。

12月一般質問に対する取り組み結果

【問】 木越住宅の環境改善

【どうする】

【答】 今年度中に関係者と話し合う。

【問】 使用されていない教員住宅どうする

【答】 4月の先生の移動後に検討する。

【問】 盛谷地区の農道の整備

【答】 16年度中に使用出来るようにする。

【問】 町のHPの取り組み

【答】 職員で取り組むような体制を取る。

【問】 透析施設建設の検討結果は

【答】 現段階では困難だ。



問 大串土砂搬入裁判は

答 推移を見るしか方法がないのが実情です



はなと つゆこ 議員
鼻戸 露子 議員

質問（鼻戸議員）

大串土砂搬入裁判はいつまで続くのか。年数ばかり経過して、弁護士費用等もかさみ、早期の解決を望む住民の一人です。行政として一定の意見を打ち出し、弁護士と早期の解決方法の話し合いを進めるべきと思いますが、町長の考えを伺います。

答弁（町長）

私どもも早期に解決されることを願っております。現在第2審で、高等裁判所で審議されているところであります。お互いの弁護士さんを通じてやりとりをしているのが今の状況で、もう少し推移を見るしか方法がないと言ったことが実情です。

問 公共下水道工事は

答 全戸加入が原則です

質問（鼻戸議員）

平成16年度施行予定工事設計として、大崎処理区を位置図表されています。その工事費の中、財源として加入者分担金が計上されています。そこで伺います。

- ① 加入者分担金はどう理解してよいのか。
- ② 工事地区内への説明会は行っているのか。

③ 説明会で、どのような意見出されたのか。

お答え願います。

答弁（上下水道課長）

① 下水道施設の設置により生活環境の向上等の利益を受けることができる地域の人に建設費の一部を負担していただくのが受益者負担金です。

問 火災発生時消防団員の出勤通報伝達は

答 家屋火災は、まず出勤をする

質問（鼻戸議員）

今年に入り身近に家屋火災が連続発生し、私達に火災の恐ろしさを今一度教えられました。火災発生に当たって、通報、伝達について遅れがあるので、住民より随分指摘されています。平成16年3月定例議会では旧町防災行政情報の伝達

施設の統合一体化事業を行いますと、所信表明されました。そこで伺います。

① 火災発生時の旧3町の伝達一本化の話し合いはされたのか。

② 非常勤消防団員数、所属分団員数、分団人員は。

③ 大崎上島消防署職員数

答弁（町長）

新しい町になって、旧町時代の消防団は一本化されました。

答弁（総務課長）

消防団員数は合計341名、9分団で構成され、1分団40名前後です。大崎上島消防署職員数は、21名。うち2名が島外から通勤しています。



消防屯所



② 15年度において第2期事業認可を受け、引き続き残りの区の説明会を、今後にも必要に応じて実施していくことにしています。

③ 家屋内の排水設備の工事枘の設置場所分担金・額等でありました。

問 中学校の建設を早急に

答 合併後2年を目処に方向付けを



尾尻 公雄 議員

質問（尾尻議員）

木江小の校舎建設がありました。大崎中学校の校舎の老朽化により中学校の統合の取り組みが優先されるべきではないか。

答弁（町長）

昨年教育委員会でアンケート調査を行い、中学統合に賛成が60%ぐらいでありました。これから場所の選定を含めいろいろな問題を議会及び教育委員会等と協議をしながら進めてまいります。

問 大串干拓訴訟について

答 早い解決を望んでいます

質問（尾尻議員）

大串干拓訴訟は原告（相手）側が大串に土砂搬入の依頼で来町され、当時の町長が充分信頼できると判断し土砂搬入を依頼されたのに、少し地元の協議の遅れで一方的にこの仕事から辞退されたいと申し出をされました。当時業者がもし町の意に反し損害等があれば

補てんのため3300万円の営業保証金を積まれたのですから、業者の一方的な辞退については町に損害金の請求するのではなく辞退する方が迷惑料を支払うのが一般的な通例ではないでしょうか。このことを裁判所にご理解いただくよう努力してください。



答弁（町長）

この問題は一番で議論されていると思います。いずれにしても早く決着をつけていただくように裁判官の方をお願いをしています。

問

予算編成方針については相当厳しい点数が

答 地域の事情、地権者の協力等に配慮しながら取り組む

質問（尾尻議員）

16年度予算編成について（産業、建設）で言えば相当厳しい点数をつけざるを得ないのではないかと。次につなげる路線選定の協議がされていない。また、町費による各区への予算配分があっても良いのではないかと。

答弁（町長）

予算編成については継続事業は完了まで進めていく。地域要望は最大限配慮し職員が周知をし、その中で優先順位をつけて取り組んでいく、地権者の協力が得られれば進めていく。維持補修は安全の面とかを配慮しながら進めてまいります。

問 複合施設の建設計画について

答 構想が出来れば一緒に検討ください

質問（尾尻議員）

複合施設の建設については後の維持費等を考慮すべきであり、場所については旧高田酒造をお考えならばいかがなものか。あの場所の利用は住宅地を年頭に議会とご相談ください。

答弁（町長）

旧木江町で健康に関わつての施設整備の目的で取得しています。小学校跡地を含め建設計画を議会に示し一緒に検討していただきたい。



▲ 授業風景（大崎中）

問

住民の小さな要求
にどう応えるか

答

全ての要求には応えられないが、大切にしたい



ふじわら たつひで
藤原 龍秀 議員

問

公民館の職員配置は

答

忙しいときは応援に行きます

質問（藤原龍秀議員）

公民館への職員配置が2名から1名になるそうだが、それぞれが持っている事務局は、大崎に移るのか。また1名では町民に十分対応できないと思うが。もし、1名になるのなら混乱しないように対処して欲しい。

答弁（町長）

16年度は社会教育課8名となり2名減となります。公民館職員としてではなく社会教育課の公民館への配置1名ということになります。これまでの事務はその職員が担当することになると思います。その時々で事務処理できない事になれば応援するようになります。

問

中学校統合は行政主導で行うのか

答

行政が早急で一方的な結論は出しません

質問（藤原龍秀議員）

統合問題協議会の最後の会合で今後は、行政主導で進めてもらいたいということになったと聞いたが、統合すればこうなるという理念をもって話を進めれば、賛同されない方の理解も得られるのではないか。大崎中の老朽化の問題、交通問題などからなので早

く結論を出すべきと思うが。

答弁（町長）

色々な考えの人がおられますので、行政が一方的に押し進めるのは問題があります。統合するにあたっての問題点を行政ならこう考えるという指針を示しながら、皆さんに考えていただいて、対応していきたいと



▲ 大崎上島文化センター

思います。教育にかかわっておられる方が主体的に考えていただき、そこを飛び越えて結論を出すべきではないと思います。

問

自主防災組織の実情と活動内容は

答

県と協議しています



たつ た しん じ
辰田 真司 議員

質問（辰田議員）

地域防災計画を作成し、実施推進するとなつていますがどのようなになっているのか。新年度予算には、防災会議委員の報酬しか予算措置されていないが、どのようなになっているか伺います。

答弁（町長）

県と協議しています。新しい町になってそれぞれ3町が持っていた防災計画を集約して総合的につくりかえ、現在作業中です。



▲ 出初式

問 入札ランク制度について問題点があるのでは

〔答〕 ランク分けについては検討します



信谷 俊樹 議員
のぶたに としき

礎工事をした会社に対して舗装会社が信用できないので、舗装しないと言ったときに出来高払い・前払い保証金・履行保証金まで問題点が発生します。だから、ランク分けに配慮して欲しいのです。

〔答弁（町長）〕

ランク分けについては、研究検討していきます。



▶ 工事現場

〔質問（信谷議員）〕

ランク分け制度の根拠の一つに、県の経営診断総合点制度に問題点があると考えられます。例えば、会社を長く経営すれば建設機械・車などの会社資産を充実にしなければなりません。そのために負債が新規の会社と比べて多くなり経営点数が低くなり、古参会社は不利になります。ランクの下に会社に対しての問題点も出てきます。例えば、新設道路の下基礎工事部分完了したとしても、その上の舗装を完了しなければ工事完了とは言いません。基

問 大崎上島町の将来像は

〔答〕 安心して暮らせる町にすることです

〔質問（信谷議員）〕

町長が目指している、生き生きした町・安心してくらせる町とはどのような町なのか。また、どのように作っていくのか。

〔答弁（町長）〕

地域の方と一緒にやって

町を創ることが望ましいと思います。行政主導ではなく町民参加型の新しい町づくり、生きがいの芽をそれぞれの方と相談しながら作っていくのが生き生きした町・安心してくらせる町になると思っています。

問 大串干拓地利用計画を立案すべきでは

〔答〕 過去の計画のスタイルを見直し検討

〔質問（辰田議員）〕

先日、リゾート法の見直しが報道されました。瀬戸内中央リゾート構想最重点整備地区としての法的網が外せるなら一日も早く外し、海岸整備事業、知的障害者授産事業等リゾート法により何年も実施が遅れていました。町も地籍調査を実施し、問題解決に向けての姿勢は見られますが、全体での利用計画が一向に見えませんが、



▲ 大串干拓地

土砂搬入も相当進み、町として全体の利用計画を立案する時期に来ていると思うが、町長の考えは。

〔答弁（町長）〕

過去、平成4年のマリナーリゾートがベースになりいろいろな構想、事業計画が作られてきました。リゾート法の廃止するという見直し計画が国から示され、広島県もそれを検討しています。過去計画された基本は民間企業の活用というのは今の時代にそぐわないというところもありますので、過去の計画のスタイルを見直して、検討していく。もう既にできている海水浴場、駐車場、福祉施設についてはよりよい活用を進めていくのは当然ですが、全体の事業計画を皆さん方と一緒に、16年度早い時点で進めていきたいと思っています。

問 総合病院人工透析施設の建設を

答 財政的に困難・交通費の補助拡大で対応



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

島県福祉保健部長や県会議長に面談し、要望書の実現にむけ努力をお願いしています。

質問（赤松議員）
新町建設計画で「重点的事業は医療の確保で人工透析・小児科医の派遣・眼科・耳鼻科の派遣」とあります。

合併協議会の住民アンケートで、多くの住民が合併後の特に力を入れていく項目の一番に、病院等の医療施設の整備、不足診療科目の開設と総合病院を要望しています。

広島県腎友会大崎上島腎友会の友田久雄会長は「大崎上島における透析施設の早期開設と医師確保・派遣に関する要望書」を昨年広

議会で話が合った。これを踏まえた建設計画の重点施策になっている。総合病院の建設をすべきでは。

再答弁（町長）

不足医療や透析について医者と詰めた話はしていない。医師会の意見は尊重する。財政的負担は多く総合病院建設は困難です。

再質問（赤松議員）

広島県腎友会は「①透析のできる医師を確保する。②合併症は関係医療機関と連携することで問題はない。③設計図や計画を提出している。1,000万円の赤字でも設置したい。④広島大学と連携し眼科や耳鼻科の設置を計画する。」と施設の整備を要望している。多くの住民が一番に要望しているのになぜ実施しないのか。

答弁（町長）

島として地理や条件は不利なことは認める。車の割引等通院助成拡大で対応する。

再質問（赤松議員）

安田病院が島に分室を設置する場合、年3000万円の補助金が必要と大崎町

再答弁（町長）

対象者一人当たりどれくらいの行政支援が適当か考える。不足医療について医師の協議を進めている。

問 若者の定住の予算は

答 具体的には困難です

質問（赤松議員）

合併時町民に対し合併後10年間は3町の予算は変わらないと説明してきましたが、その事は守られない。東野プールや防災無線統合改修は国の補助金がつかなくなっている。町民に対しどう説明していくのか。

予算編成で建設計画にある「活発で働く場に恵まれ、若者が定住する産業の島とあります。」町の活性化実施には働く場の創造が急務です。新年度予算に関し、



▲ 県立安芸津病院

働く場の確保に関し具体的にどのように反映しているのか。

再答弁（町長）

合併時の住民説明会は合併のメリットを置いた説明だった。その後国の財政運営で補助金の金額が下がった。住民への説明会は考えない。農業ではハウス栽培で若者が従事していますが、後継者の育成は具体的には困難です。

問 大崎上島消防署の庁舎建設は

〔答〕 現在の庁舎横の駐車場辺りへと思っています



もりかわ いえただ 森川 家忠 議員

質問（森川議員）

大崎上島消防署の庁舎建設について、平成16年度の竹原広域行政組合で庁舎建設施行調査の委託料が予算化されています。

この調査の内容は、どのようなものなのか。また、この庁舎建設はいつ頃、どの場所へ、どの程度の規模のものを考えているのか聞かせていただきたい。

答弁（町長）

この調査はボーリング調査を考えています。場所は、現在の庁舎横の駐車場や訓練で使用しているスペース



▲ 上島消防署

を利用して建設をし、建設後に現庁舎の解体をし、駐車場や訓練をするスペースにすればと思っています。建設の時期につきましては、平成17年度は、福祉施設とか複合施設の建設が入ってきますので、平成18年度で、という思いでいます。

建設費につきましては、計画では約5億円で、合併特例債で対応ということにしていますが、切り詰められるところは切り詰める努力をしたいと思っています。

問

西野干拓地の土砂搬入契約を整理すべきでは

〔答〕

平成16年度中に整理をしていきます

質問（森川議員）

①町と搬入業者との契約書に、期限は平成17年度3月31日、土量については概ね350万[㎡]の3分の1、とあるが、町としてはどちらを優先し、いつまで、どれだけ入れようと考えているのか。

②①について、地元大串区としては、どの様に考えているのか、町として確認をして頂きたい。

③変更契約が多すぎて、内容についてわかりにくい

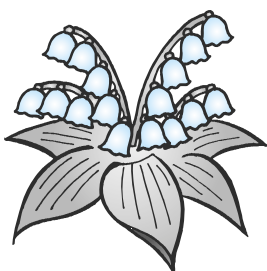


▲ 土砂搬入場所

点があります。一度整理をするという意味で、この度の契約期間をもって契約を切り、きちんと整理をした上で契約をし直すべきと思います。町長の所見を伺います。

答弁（町長）

①基本的に「おおむね」という表現が適切なのか、明確な表記が必要なのかなどという思いはあります。16年度中に整理をしていきたいと思っています。



②大串地区の皆さんには、当初から協議会を設置され、その中でいろいろ議論をいただいております。この地域の方が一番実態がわかっていて、わけですから、こういう方々の意見をよく聞いて、水処理の問題、造成地の高さ、等々を含めて決めていくべきだろうと思います。

③今後の利用計画を含め議会の皆さんと一緒に、少なくとも平成16年度の早い時点では、ある程度の大筋は見きわめていただきたいと思っています。特に大崎地区の議員の方々のお知恵を借りたいと思っています。

問 町民に見える財政改革を

答 協議を進め取り組む



ながお まなぶ 議員
長尾 学

質問（長尾議員）

再建団体にならないよう町民に見える改革、職員の意識改革をしていただきたい質問をします。

①人件費の削減を。（委託料を含む）職員でできることは職員で、また研修することで委託料の削減を。

②滞納繰越金の回収を何%見込んでいるのか。1億円余の滞納金の回収を目標をもって取り組むべきである

③公用車の廃止、整理を。台数、必要性を精査し、経費の削減に取り組むべき

き。

④町有地の管理を職員で。

また、不必要な町有地は売却すべきである。管理費の削減に積極的に取り組んでいただきたい。

⑤官民で事業見直し委員会の設置を。事業の必要性かつ重要性を官民で検討すべきではないか。

答弁（町長）

①職員と協議を進めたい。

②年間を通じて収納対策を行うと共に納税指導も行う、収納率を上げていくようにしたい。

③本庁、支所で適正な台数になるよう取り組む。

④町内で行政役割を終えた財産、権利譲渡が可能な財産を把握し整理していきたい。

⑤新町として、16年度には必要と思うので検討する。



問 各地区への連絡事務補助金の支出根拠は

答 旧大崎町の算定方法で使い方は区長会へ一任



ふくすずみ すすむ 議員
福増 進

質問（福増議員）

昨年合併し、各地区への補助金が支出されていますが、その支給内容について詳しく伺います。

答弁（町長）

新しい町になって、従来のそれぞれの町が、区長、あるいは区へ連絡事務補助金という扱いで支給していた状況で、違いはありません。合併協議会の中でいろいろ論議されてきたなかで、区長の身分というのはあくまで任意の自治区としての代表者であり、町長が任命した位置づけではありません。

旧大崎町時代は、非常勤特別職という扱いでしたが、改めるべきではないかというところで、ご理解を得て、こういう方向になりました。

旧東野、木江については、今まで班長にまで報酬を出していなかったと思われ、このことは今回の補助金の中に含まれているので、大変良いことだと思います。補助金を全額人件費として使った場合に、各老人集会所の維持管理費、備品の破損、冷暖房設置等は、町が全面的に負担していくのかについて、再度質問致します。

再質問（福増議員）

基本的には、通常の維持管理というのは使われる方が費用負担をし、財産権としてかわっている大きな

答弁（町長）

修繕とか、浄化槽の法定検査料等は町がそれに対応するのが当然だと考えております。まだ若干整理しきれない部分もありますが、今後、区長さんをはじめ、地域の方々とご相談しながら進めていきたいと考えております。



▶ 外表のお祭り

問 教育用プールと温水プールは兼用すべきでは

〔答〕 兼用はしないほうがベターである

当にコスト意識をもつての
行財政運営に当たると、
温水プールと兼用にすべき
では。②施設として存在す
るテニスコートを壊して他
に新設するのなら、コスト意
識に反するのでは。



わたなべ としのり
渡辺 年範 議員

質問（渡辺議員）

町長の所信表明によれば、
財政運営はますます歳出の
抑制が求められ、コスト意
識を持つて事務や事業に取
り組む必要性を強調してお
ります。そこで16年度の予
算を見れば、教育用プール
として1億4千万円で東野
町民プールの建設を予定し
ており、しかも、東野中学
校テニスコート4面中2面
を壊しての計画であり、ま
た今後、旧木江小学校付近
に温水プールの建設も計画
されています。そこで、①
建設費、維持管理費など本



◀ 東野町民プール

答弁（町長）

① 東野地区へ作るプールは
教育目的のプールで、木
江地区につくる温水プー
ルはリハビリ専用のプー
ルであり、教育目的と福
祉目的を統合させるのは
お互いの利用者にとって
ベターではない。コスト
の問題とか維持管理費用
については最大限の努力
をする。

② 教育用プールである以上
管理しやすいところにあ
る方がよいこと、学校の
クラブで4面使い切って
いないこと、現在のプー
ルは行政ゾーンとして駐
車場用地やいろんな行事
を行うときの関連施設用
地としたこと、盛谷埋
め立て地は年月がたつて
いないので地盤の安定性
からいっても難がある、
（ただし、テニスコート
の移設は可能性がある）
などの判断により、設置
場所を変えました。

問 東野東部地区（垂水港周辺）の土地利用は

〔答〕 県や地権者と相談し、きちんと整理したい

質問（福増議員）

東野東部地区（垂水港周
辺）の土地利用について
は、旧東野町時代より、長
年の懸案事項となっていま
したが、その事について町
長は今後どのように対処し
ていくのか伺います。

答弁（町長）

垂水港も、大崎上島の玄
関口として多くの方々が利

用されています。ご指摘の
ように、駐車場の件につい
て、いろいろな経緯はあつ
たと思いますが、なかなか
十分な状態にないことも承
知しております。今後の取
り組みとしては、土地の所
有者と、権利関係等十分な
話をし、町の方できちんと
整理していきたいと考えて
おります。



▲ 垂水港周辺

問 抜本的な財政改革を

答 限られた財源の中で選択



三谷 良持 議員

質問（三谷議員）

政府が地方分権下で地方自治体に求めているのは、三位一体の改革の内容をみても分かるように「自己資本による財政運営」だと思います。

また今後どのような形態の税源委譲があったとしても、財源は総体的に大幅な減少が推測されます。

現在交付税や補助金に依存している町村は合併により財政の危機回避を図っています。しかし、本町においては財政は改善しておらず、今後の地方分権システムに備えて抜本的な財政改

革が必要ではないでしょうか。

今後の財政運営と次の3点について伺います。

○地方分権では税源移譲等の財政システムの改変が考えられるが交付税特例措置の確保は。

○16年度は予算において公債費や維持管理費が上昇し、財政の硬直化が懸念されるが。

○目標となるバランスシートの設定を。

答弁（町長）

限られた財源の中で選択をして、いいものを次代につなげていくという視点で考えなくてはなりません。

合併時の算定数値は10年間は変えないという話になっておりますが、交付税自体の総枠が少なくなっています。

公債費は15年度で繰り上

げ償還した関係で16年度は大きく伸びてないと認識していただいて結構です。

行政のバランスシートというのは相当厳しい財政状況の町であってもバランスシート上は黒字になります。

問 住民の活力が生かせる環境整備を

答 適切な情報提供して考えていく

質問（三谷議員）

地方分権では本町においても「自立し得る自治体」が求められています。それには行政中心から住民主体の町づくりにより、行政負担の軽減が不可欠です。

今後の行政の役割として

○ボランティアの啓発・人材育成○登録制人材バンクの設置による人材確保○住民への役割分担など、住民の活力が活かせる環境整備に取り組むべきではないですか。

答弁（町長）

質問の趣旨は、これから行政自体にとって最も基



本的な事項だと思います。適切な情報というのはほとんどん提供して、皆様と一緒にになって物事を考えていくという視点で行政に取り組みたいと思います。

問 公印不正使用について

答 公印規程を厳守していく



藤解 弘 議員

質問（藤解議員）

先の12月定例議会で問題になった町長公印不正使用について伺います。

昨年、10月27日、建設業者に通知した公文書は稟議書もなく、町長公印が不正に使用されたことは明白です。



▲ 絵本のよみかぜのボランティア

問 入札制度の見直しについて伺いたい

【答】 本年度中に入札制度は見直します



もりわが けんじ 議員 森若 巖

施工するのが本来の姿である。自社で出来ないのなら入札に参加する資格はないと思う。このような状況はなくすために今の入札制度は見直す必要がある。

【答弁（町長）】

入札制度について、新しい町になって私どもの方も検討を重ね、過去2年間の実績とか資格者がいるかなどの要因を含め県が行っている資格審査に基づいてランクづけを行っていました。が16年度については設定金額を含め改める必要があると思っています。

【再質問（森若議員）】

東野地区の町民プール。木江小学校新築工事、温水プール。授産施設等は島内の業者に施工を任せられるのか。

【答弁（町長）】

今までの実績で3億でし

たら単体でやっていくべきだと思う。4・5億となると施工した事例がないので、大手とジョイントを組まざるを得ない。

【再々質問（森若議員）】

単体で施工した業者がないのでジョイントを組まなければならぬと言われたが、まずまかせて経験をつまず、この事が大事だと思いう。そうすれば床下点検口の穴あけを施工するに3ヶ月をかけることはない。

【答弁（町長）】

税金を使って物をつくることを考えると、心配しながら発注して施工するよりも、ジョイントでやらざるを得ないと思う。施工管理には今まで以上に行政の方で指導しますので理解を得たい。



町長は「管理責任は私にあります」と答弁されています。それから約3ヶ月が経過しますが、その責任についてどう対処されたのかはつきりと町民の皆様が分かるようお答えください。

【答弁（町長）】

決裁規程、公印規程を厳守していくこと、このルールをそれぞれの職員が認識していくということを合わせて今回組織改正を行いました。その中で係りの役割、課の役割を明確にして住民の方に不利益を与えとか迷惑をかけることのない体制で臨みたいと思っています。

問 生活排水対策整備に関するアンケートについて

【答】 平成16年1月に実施した

【質問（森若議員）】

旧東野旧木江地区にアンケートを実施すること。それぞれ各地区にいくら配布し、いくら回収できたのか。

【答弁（上下水道課長）】

旧東野地区に1213部配布し823部回収、また木江地区には655部配布し430部回収できた。



▶ 庁舎内

問 町長の所信表明に関して問う

答 職員一体で行政を遂行します



質問（松本議員）

- ① 新町建設計画に基づく諸事業に予算の重点配分とあるが、順番、内容、町民への責任説明はどうか。
- ② 重点事業である医療の確保については、どうなっているのか。
- ③ 勤労者対策、平和行政はどうしていくのか。
- ④ 庁内の責任執行体制についてはどう考えているか。

答弁（町長）

- ① 基本的には、合併建設計画に基づいた形状ということ。年度をあらかじめ定めており、それに

問 医療の確保・充実についてはどうなる

答 さらに検討を進めます

質問（松本議員）

- ① 医療の確保、充実について実情はどうか。島地域の将来を考え、医者不足や医療分野の今後をどう考えるか。
- ② 人工透析器導入事業・施設整備等は、なぜ新年度の事業、予算に入れないのか。16年度に1億円の事業と計画していたが？「過疎計画書」にもある事業との関連は。人の命に関わる重要案件を真剣に早急に実施すべきだ。
- ③ 健康増進複合施設（7億円）について医師の確保

答 自分たちでやっていく視点で考えていきます。

問 大気汚染、公害問題の取り組みはどうか

答 町民に啓発や環境保護重視で取り組みます。

す。

- ③ 医師の常駐は考えていません。リハビリなどの指導体制を検討します。利用人数等については、多くの人が使われるようにとの視点で取り組みます。

再質問（議員）

町長は基本的な所からそれて、避けているではないか。町民の大多数要望として、医療施設の整備がある。そして、町は計画に入ってきた。町長も深く関わってきた責任がある。仮に計画変更するにしても、相應の機関を設けて全体合意を得なくてはならぬ問題だ。町の安易さは許されない。

答弁（町長）

島内のお医者との連携の上で、判断させていただいています。問題点を整理しないと、ここでできることは難しいです。

こんな質問もしました

問 町内の循環型システムを生み出そう

（※上勝町の視察で仕組み作り、町民の参画活力など学んだ事から提言）

問 総合相談窓口の設置を

答 積極的活動を進めたい



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司 議員

るとともに、地域、地域での出前の相談講座や、お医者さんや保健師による相談講座も積極に取り組んで行きたい。



▶ 窓口

問 平和カレンダーへの指導内容は

答 教育の中立性について校長に指導

質問（中村議員）

今回の機構改革にあわせ、相談窓口を設置し、子育てや医療・就職・教育・人権など住民の悩み事や心配事に対応できる機能を持たせるべきではないでしょうか。

当面、専門機関や専門家への紹介は十分対応できると思いますので、新年度のスタートとすべきと思いますが、町長の考えは。

答弁（町長）

こうした相談活動の充実も視野に入れて今回の人事異動を実施しました。実働させながら問題点を検証す

平和カレンダーが学校から相次ぎ撤去されているとの事です。イラクへの自衛隊派遣や、憲法9条の改憲を目指す政治的な意向に影響されていることではないかと心配しています。

町内での、各学校での平和教育の状況と、平和カレンダーについての指導について伺いたい。

答弁（教育長）

平和教育については学習指導要領にのっとり指導しており、教育の中立性を保

つという観点で判断するよう校長に指導しています。

再質問（中村議員）

中立性の上で平和教育がどう進められているか、平和カレンダーが学校内でどう扱われているかを質問している。事前に質問通告をしておき、具体的内容を答弁いただきたい。

答弁（教育長）

質問には答えており、学校で現在、平和カレンダーがどう扱われているかは把握していません。

問 西野小の学校運営への対応策は

答 学校と連携し対応したい

質問（中村議員）

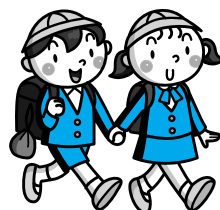
西野小が1年間だけ完全複式となる中で、教師が2名となり、教頭が担任を持つこととなります。授業に影響が出ることのない様、対応策を講じるべきと考えますが、教育長の考えは。

答弁（教育長）

特例の措置を県教委に要請してきましたが、困難との事です。町独自の教師の

加配も法律の規定により困難です。

教育補助員・非常勤職員などサポートできるものを町長と相談の上、対応します。



問 フェリー無料乗船券利用の廃止を

答 新年度からは回数券で対応

質問（中村議員）

フェリー問題に対応すべく取り組みが継続されていますが、現在も行政出張に無料乗船券が利用されています。この際、利用を取りやめ、海上交通問題に取り組む姿勢を明確にすべきと考えますが町長の考えは。

答弁（町長）

新町になって、パス券を2枚預かっており、1年で127回利用しています。経費の節減で対応できる範囲ですので、新年度からは回数券で処理します。

福祉文教委員会

委員長 森川家忠 副委員長 福増 進
委員 鼻戸露子 藤解 弘 中村修司
土井田聖次 藤原国輝 三谷良持
藤原龍秀 長尾 学

町長に町内人工透析施設の建設問題についての 中間的まとめ及び要望を提出!!

3月25日

能性、さらに地域実情に合致するかどうかについて協議を開始いたしました。

同時に、町執行部においても具体的調査を開始することとなったことから、合同しての調査のうえ、執行部より報告書として委員会に提出を求め、その内容について報告がされました。

その結論は現時点では、人工透析施設設置は大変困難であり、通院助成の充実が望ましいというものであった。



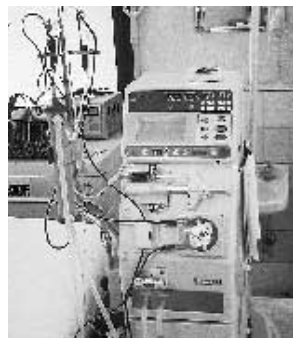
▲ 透析用ベット

この報告を受けての、福祉文教常任委員会の意見は、今回の、執行部における現時点での施設建設は困難との判断・報告は順当なものであるとの立場で一致している。

なぜならば、今回の最も重要なポイントは、島における透析治療に対し、赴任意思を持った専門医師が確保できるという点にあった。ところが現実にはその確保について具体的結論に至ることが出来なかった。したがって、担当医師と協議の上で取り組みねばならない諸条件についても全く手つかずのままであり、当面、施設建設は見送らざるを得ない。

しかし、予算投入が、年間4100万円となることから困難との判断については、内科診療を併設できないことが前提とされての試算である。併設が可能であ

るという前提に立てば、後年度負担については比較的軽い負担で、実施できるとの試算も示されている。



▲ 透析の器械

この時点で、内科診療との併設が不可能とする中で、人工透析施設が建設できないとの結論づけることについては、賛同できないとの意見が大多数である。

町内の開業医の数は徐々に減少し、すでに地域的には日常的医療に不便をきたしている地域も存在しています。

こうした地域での内科診療との併設は、将来の生活条件整備にかかわって、む

しろ積極的に取り組むべき課題であり、今後は、併設施設の建設に向け地域内関係者の合意形成を図りつつ推進すべきであると考えます。

したがって、当委員会としては、町執行部が今回の報告を結論とするのではなく、あくまで中間的とりまとめとし、今後も、町内に赴任していただける医師の確保に向け、情報収集に努めるとともに、関係各機関や関係者に対して要請・要望を継続すべきとの意見で一致しております。

今回、要望書を提出された19名もの透析治療者の方々の切なる願いにこたえるため、さらには、ますます進んでいく高齢化に対応し得る町内医療体制の充実に向け、一層の取り組みを推進されるよう強く要望し、福祉文教常任委員会としての中間的取りまとめ及び要望書とします。

昨年11月に、NPO法人「腎友会」から、公設で施設を整備すれば、専門医師の確保と運営は充分可能であるとした事業計画書と、施設が導入されれば受診したいという19名の透析治療者の署名を添えた要望書が、町長と議長宛にそれぞれ提出されました。

この要望書を受け、福祉文教常任委員会においては、実現可能であるとした事業計画書の具体的検証と、運営にかかる予算上の実現可

産業建設常任委員会

委員長 辰田真司 副委員長 森若 巖
委員 望月住夫 松本文昭 蒔田篤雄
松原 茂 尾尻公雄 松本 進
川口信夫 川崎晟司

視察研修報告

「すみれ祭り」が終わって
から視察をするという事で、
当委員会は2月18日～19日
に四国に行きました。
1日目は香川県 飯山町^{はんざんちやう}
で下水道事業の現状と課題
に関しての視察をしました。
ここでは、上下水道課長・
議会議長も交えて、飯山町
の公共下水道計画の概要及
び経過について説明を受け
ました。



▲ 研修中

平成8年から下水道の供
用開始をしており、現在は
公共下水道は処理区域内世
帯の82%が加入。農業集落
排水施設は地区により80%
の所や45%の所と違いがあ

りました。町として加入増
加対策では○毎年加入ハガ
キによる加入促進○融資制
度の充実○工事が積極的
に営業活動をするというま
した。
当委員会から事前に質問
事項を送っていましたが、
丁寧に資料や説明をしてい
ただき学習が深められまし
た。大崎上島町は4月から
下水道条例等を施行します
が、町民の皆さんのご理解
と加入の促進ができたと思
っています。
2日目は、徳島県上勝^{かみかつ}
町^{ちやう}（人口2200人・世
帯800戸）を訪ねました。
四国で一番小さな町で、高
齢化率は44%とのことだ
した。この町は今、アイデ
ィア行政と面白い事業で注
目を浴び全国から山里の町
に視察にきているそうです。
私たちは「葉っぱでもう
けている町」とのことだ視
察に行きましたが、「ごみ
ゼロ（ゼロ・ウェイスト）
宣言」を全国で一番に発
実践している事や「有償ボ
ランティア輸送特区」の導

平成15年度 有害鳥獣捕獲数

イ ノ シ シ	駆除	3 4 3 頭	わな	3 1 3 頭
			銃器	3 0 頭
	狩猟	2 5 0 頭	わな	2 2 3 頭
			銃器	2 7 頭
		合計	5 9 3 頭	
カ ラ ス	駆除		9 3 羽	
	狩猟		3 6 羽	
	合計		1 2 9 羽	

入など地域振興に頑張っ
ていることを知り感心しま
した。
主に説明を受けた第三セ
クターの「いろどり」は農
産物のPR、販売の業務を
目的に5年前に設立されて
います。市場の情報をパソ
コンなどで生産者に伝え出
荷をしてもらう仕組みを
作っていました。
四季折々の植物の葉や花
などを全国に出荷するそう
で市場の7割を占めている。

荷物は軽い・短い時間・
生きがいなどで、高齢者の
よい収入源（月収30～50万
円の人も）になっていると
の事でした。
自らも汗をかき開拓して
きたという説明をされた責
任者から、長年町民全体に
対し講演会などで「意識改
革」を進め「人づくり」を
取り組んできたこと。そし
て、仕組みづくりが大切な
ことなど多くを学ばせても
らいました。

商工会青年部長

座談会

蒔田 本日は、お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。どうぞございます。

早速ですが、合併して1年になります。メリット・デメリットを感じていると思いますが、お聞かせください。

岡本 自分は、合併協議会の委員をさせてもらったので突っ込んだ話は聞かせてもらっています。本来住民からあがってきた合併が望ましいわけで、実際、国・県からの締め付けがあつて、望んだ合併じゃなかったと思うんですよ。しかし、他の所のような吸収合併じゃなく、島の中の旧3町が対等合併で良かったと思います。合併して1年なので旧三町のすり合わせの時期で、あまりメリット・デメリットを感じてないですね。ただ合併に対する期待はあったと思いますね。

蒔田 合併して一つも良いことがないと聞きますが。

中田 実際ええことばかり書いていましたよ。

蒔田 合併して何か良い所が見えれば良いのですが、実際、土曜日バスが運休して不便になったですよ。

中田 岡本君が言ってくれたので。先ほどバスの事言われましたが、実際土曜日バス停で待っている方がおられるんですよ。一体ど

うなっているんかと思えますよ。

蒔田 一番弱者の方が不便を感じていると思いますね。しかし、4月から土曜日のバス運行はされると聞いています。

重松 合併したもんはしょうがないんで、メリット・デメリットはないんですよ。一つ良かった事は、合併したこと、すみれ祭りを3町の青年部で話をした事です。合併してなかったら一生話はしてなかったと思いますよ。

森若 合併したので前に進むしかないんですよ。しかし、良い方向に進めていくには、青年部部長の皆さんの意見をお聞きしたいんですよ。

中田 一つメインになるビジョンを決めてそれに向かって町民に分かつてもらって進めて行けばいいんじゃないかと思うんですよ。

重松 フェリーは仕事で携わっているけど、運賃を安くすると、突破口になると思いますよ。安けりゃ動く

もん。行動を起こしたら良いと思いますね。

蒔田 フェリー料金低廉化はすぐには解決できないと思うんですよ。一つの方法として、2割引チケットを町で販売できればと思うんですよ。

中田 それができれば良いですね。行政サービスとして。

森若 三セクで走らせた如果说えば、色々理由をつけて前に進まないんですよ。

(中略)

岡本 話を戻しますが、色々協議会があると思うんですが、もっと情報を住民に出してもらって、住民が判断できるようにしてもらいたいですね。(インターネットにのせてもらいたい)

蒔田 もっと情報を出すよう話をしてみましよう。

次に商工会の合併についてお聞かせください。

岡本 一つの行政区域に3つあるのはいかがなと思うんですよ。個人的には早く合併すべきじゃないかと思っていますね。

中田 合併は避けて通れないと思うんですよ。しかし、3町で温度差があるんで調整が必要ですね。

重松 今日来るとき、合併についてはチャックしておいてくれと言われてきました。しかし、同じ考えですよ。

森若 部会では合併について話をするにはあるんですよ。

重松 話はしないですね。すみれ祭りの話をしたぐらいです。

中田 おと姫カード会は、旧3町でうまく行っていますよ。

岡本 旧3町で何かするということとはなかったです。部としてではなく個人的な付き合いで話をするだけの商圏では商売できないですから。

蒔田 県では21年3月末までは合併しなさいと言っていますね。早い段階で合併すれば条件的には有利に合併できますよ。

岡本 商工会法で解散を伴



▲ 左から重松、中田、岡本青年部長

いますね。現職員の身分の保証が心配ですね。
森若 県に確認してみんといけんですね。
中田 今、小規模事業者数は3町合わせて何人ですか。
蒔田 511人です。
森若 現状では減るばかりですよ。
中田 農業をされている方も会員になれますよね。
重松 譲れること譲れないことがありますよね。
岡本 譲っていけない所は

ればいけないと思いますね。部会で話し合ってもらって親会に提言してもらえればと思います。
蒔田 前向きに考えていくと言うことで、次の質問にいかせてもらいます。
 今後、町・議会に望むことがあれば
重松 子育てが終わられた女性の方の職が全然ないね。造船所で働いても給料が少ないんで共稼ぎをせんにゃあやっつていけないんですよ。

ほんと働くところがないね。
蒔田 そうですね。でも、皆さんと一緒に考えていかんといけんと思うんですよ。
重松 突破口はフェリーの運賃ですよ。
中田 大崎荘、美浜荘で新しい事業をするんで10人ほど募集があったんですが、若い人が何人か帰ってきましたよ。多くの方を雇用できるといったら、こういうことしかないですよ。
 町にもっと気合を入れてもらって、デカイバージョンを考えてもらいたいですね。
蒔田 一つの考えとして福祉の島というのはどうですか。
中田 考えてみるのも良いんじゃないですか。
岡本 自分が思うことは、交流人口を増やすことです。事業をして交流人口を増やせばフェリー料金の交渉もできるんじゃないかと思うんですよ。
森若 企業誘致は無理だから。
中田 若い人で島に帰りたい人は多いですよ。

森若 フェリー料金が安ければ、働く範囲も広がりますし、若い人も帰ってこれるんじゃないかな。
重松 やっぱりフェリーの問題に戻るね。
岡本 どうか他の業者がきて競合してくれんかなあと思いますよ。
重松 個々ですれば競争になるが、フェリー同盟ですからね。四分六で分けていけると聞きますよ。
岡本 橋がないんでフェリーに乗らんと出れんので、どうしようもないですから。本当、道と一緒にすよね。県道でお金払う所ないですよ。
蒔田 フェリーパス使って安くしろというのも矛盾していますよ。
岡本 民間でやって、料金は高い、サービスは悪い、逆ですよ。
蒔田 町として3セクを考えるべきですよ。限度はありますが、赤字になっても住民の皆さんは納得してくれると思いますよ。

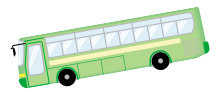
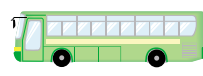
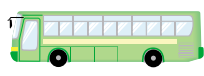
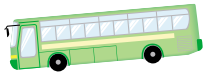
森若 行動を起こすべきですよ。そうすれば業者も考えると思いますよ。
蒔田 最終的にはフェリーの問題になるわけですが、無駄を省いて実現できるように取り組みます。
 又、部会を開いていただいて色々情報をいただければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
 本日はありがとうございます。

出席者 (敬称略)

東野町部長	岡本 康史	大崎町部長	中田 光
木江町部長	重松 勝也	広報委員長	蒔田 篤雄
広報副委員長	森若 巖		

大崎上島

交通問題協議会の経過



三町合併時の町民アンケートの中で一番要望の強かった海上交通、島内交通の問題解決の為に、行政、議会、住民、事業者計17名で平成15年1月に立ち上げ8回協議会を開催しました。交通問題の現状と課題、乗降者数、類似航路の状況等の資料集めを行い、それを元に、全体の合同会議、業者を除いた個別会議を重ねてきました。海上交通は料金問題に関する五項目、ダイヤ改正に関する三項目、サービス向上に関する四項目を要望事項として業者に伝え、その実現の為に、町議会、協議会の代表が合同



▲ ノンステップバス

で船会社、県、竹原市、運輸局等に早急に陳情活動を行う予定です。それを受けて島民の悲願であるフェリー運賃の低廉化（類似他航路の料金）の協議会としての様々な手続きが考えられるか検討に入りたいと考えております。

次に島内交通では現在バス会社が土日の運行をストップしており、島民にとって非常に不便で大きな苦情が町に来ており、協議会としても責任を感じております。今後バスの運行をどうするかということでは色々検討した結果、現状のままでは町民の為に不都合がない。平成16年10月に補助制度が変更するのを機に365日運行のコミュニティバスを導入するべきである。その方法として道路運送法21条バス（バス会社が運行主体の貸切代替バス）80条バス（町が運行主体となる自主運営のバス）の二つの方法を色々検討した結果、総合的に見て80条バスの方が住民ニーズに

マッチするということで協議会としては採用するべきであると委員全会一致で決定いたしました。

10月の運行開始の日程に合わせて町として町民の意向に合致する路線、ダイヤ、本数等の仕様書を早急に作成し、関係業者に送付し、委託業者を選出するように、町長に申し出ております。協議会の全会一致の提言を最大限尊重してくれるものと委員一同確信しております。

協議会に対して、建設的なご意見をお聞かせください。

（土曜日のバス運行は4月17日から再開。4月30日に船会社へ陳情に行きました）



▲ 海上交通

編集後記



「イラク戦争の長期化」で戦争の大義はとうに失せて平和が脅かされています。小泉内閣の「三位一体改革」の名による国の地方へのつけまわしで、広島県や大崎上島町の財政はますます厳しくなっています。

大崎上島町が合併後には「住民の皆さんが安心して暮らせる町、大崎上島に住んでよかったというまちづくり」に取り組むとあります。しかし、健康増進施設や授産施設等以外は進んでいません。住民が望む医療や交通・若者の定住など多くの課題があります。

議員の任期はあと1年となりました。住民に約束した事業についてしっかりとチェックしていかなければなりません。

広報委員会は佐賀県嬉野町議会広報の「住民の目線で知りたい紙面づくり」を研修しました。研修を参考に紙面作成を行います。